

ごみのない美しい町を目指して！

～ クリーンアップふくい大作戦出発式 ～

6月3日午前8時から、アクティブランドグラウンド（厨区）でクリーンアップふくい大作戦の出発式が行われ、地元区民をはじめ約450人のボランティアが参加しました。関町長のあいさつをはじめ西川県知事から激励の言葉をいただいたあと、「ごみのないきれいな越前町」を守っていくため、厨子ども会を代表して伊達良太さんと別司真希さんが環境美化宣言を行いました。



またこの日は、豊かな自然環境を保全することを再認識し、町の未来像「人と技 海土里 織りなす 快適なまち」の実現を目指すために、町が花いっぱいになるよう越前水仙とペゴニアの植栽も行われました。



（出発式での植栽）



（上岬地区での花いっぱい運動）

その後環境美化の拠点地域である「長須浜海水浴場」で、ゴミ袋を片手に、プラスチック容器の漂着ゴミや海藻などを約1時間にわたって回収しました。この日、越前地区全域では、これからの海水浴やスキューバダイビング、魚釣りなどマリンスポーツを楽しむ観光客を迎え入れるため、早朝から住民総出による「越前地区ごみゼロ大作戦」と銘打った海辺の清掃活動をはじめ、道路沿いや集落内の側溝ノ清掃が行われ、大変きれいになりました。



自然は、一度失われると再生するまでに何十年、何百年の月日が必要です。また、元どおりの姿に戻るとは限りません。町の素晴らしい自然風景を我々の財産であると実感し、美しい姿のまま、子どもたちへと残していかなければなりません。

普段気づかない身近な自然の美しさを再発見してみませんか。

生がそう 小さな汗 私たちの環境に 美しい越前町を築きましょう

～ クリーンアップふくい大作戦 ～

平成9年1月上旬に日本海で発生したロシア船籍タンカー「ナホトカ号」の重油流出事故から10年が経過しました。事故直後の重油に覆われた越前海岸の状況は、悲惨で絶望的とも思いましたが地元住民や各関係機関、そして県内外からの多くのボランティアの懸命の努力により、「美しい越前の海」を取り戻すことができました。



【ナホトカ号の重油除去作業：茂原地区】

町では、事故から10年が経過したことを踏まえ、よみがえった美しい海や海につながる川、森林、豊かな自然を次世代につなげるために、越前地区の「長須浜海水浴場」を環境美化の拠点地域として、町全域が「ごみのないきれいな越前町」を目標に美化活動に取り組んでいます。

県下一斉の環境美化活動「クリーンアップふくい大作戦」に合わせ、6月の環境月間中、町内の各地区（区）で、住民・事業者・行政が一体となり多くの人々が環境美化活動に参加しました。早朝から半日をかけて作業に取り組み、道路沿いや河川敷での空き缶・空き瓶拾い、家電製品などの不法投棄物を回収して、きれいな川や里・海岸がよみがえりました。

皆様のご協力により、県内外から多くの観光客が訪れる夏のイベントや海水浴シーズンを安心して迎えることができます。今後も美化清掃、花の植え付けなど、身近なところから環境美化活動を行い、みんなの手でごみのないきれいな越前町を築きましょう。



【町長と知事も清掃に参加しました】



【大浜海水浴場での清掃】



【長須浜海水浴場での清掃】